

会場開催またはオンライン開催 参加費無料 要事前登録

2023年9月22日(金) 14時半〜17時半

場所 九州大学附属図書館 中央図書館4階 スカイきゆうと commons & オンライン開催

九州大学 人社会協働研究・教育 commons 企画  
九州大学 法文学部 創立100周年記念事業 プレ企画

ブックラウンチ

『都市で

故郷を編む』を囲んで

沖縄・シマの近現代と

社会心理学的フィールドワーク



備瀬のフクギ並木

石井宏典 いしいひろのり

1965年茨城県土浦市生まれ、東北大学文学部卒業、同大学院文学研究科博士課程修了、博士(文学)。現在、茨城大学人文社会科学部教授。著書に『根の場所をまもる―沖縄・備瀬ムラの神人たちと伝統行事の継承(新曜社、2020年)』『都市で故郷を編む―沖縄・シマからの移動と帰郷(東京大学出版会、2023年)』ほか。一連の研究の基となった論文「職業的社会的化過程における『故郷』の機能―生活史法による沖縄本島―乗落出身者の事例研究(1993年)にて、第1回日本社会心理学会賞。

参加申込み

会場参加またはオンライン(Zoom)で開催します。下記サイトへアクセスの上、事前登録をお願いいたします。折り返し、アドレスとパスワードをご連絡します。



[http://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event\\_20.html](http://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_20.html)

寄り合う人

石井 宏典 茨城大学人文社会科学部/社会心理学  
中島 琢磨 九州大学大学院法学研究院/外交史  
南 博文 筑紫女学園大学/環境心理学

同行

後藤 健介 東京大学出版会  
木下 寛子 九州大学人社会協働研究・教育 commons

ここ数年、沖縄の本部半島先端にある備瀬というシマ(ムラ)をめくって、三十余年のフィールドワークの成果が立て続けに刊行された『都市で故郷を編む―沖縄・シマからの移動と帰郷』2023年東京大学出版会、『根の場所をまもる―沖縄・備瀬ムラの神人たちと伝統行事の継承』2020年新曜社)。この対をなす著作で著者は、備瀬を基点として1920年代から現在までの約100年間を駆け抜ける。日本各地の紡績工場へ働きに出たシマの女性たちの体験をなぞり、労働と稼ぎの場を求めて国の外へと渡った人たちの跡を追う。大阪ではメッキ工場の経験を共にしてきた同郷人たちを訪ねて「独立自営」の模索を知り、那覇では支え合い・競い合いつつ生活を共にした女性たちの衣料品市場を歩く。さらに、都市で老年期を迎えた同郷人が語り合い、故郷での子どもの頃の暮らしに思いをはせる場に身を置く。そして、大きく変容する故郷・備瀬において手入れされ続ける共用地(commons)、神々とながる根の場所での伝統行事の継承の場面に立ち会う。こうして著者は、実際にはもつ見ることでできなくなった風景やかつての出来事を見ようとして、ご縁のできた一人ひとりを訪ね歩き、その人生に寄り添い、語りに耳を傾け続けてきた。この度、編まれたふたつの織物は、近代化の過程そのものを辿り、社会によって移動と稼ぎの可能性に方向付けられた人びとが、共同体を何度も編みなおしながら生きる様を描き出す。それは、社会心理学における「フィールドワークの知」の大きな捻りになった。

本企画では、著者である石井宏典氏と共にこれら2冊の本を囲む場を設けたい。そしてその場での語り合いを通じ、近現代という歴史的限界のもとで生きていく私たちの場所を確かめる試みをしてみたい。



九州大学  
人社会協働研究・教育 commons

主催 人間環境学府多分野連携プログラム「都市の生態学」  
九州大学法政学会  
協力 東京大学出版会

共催 公益財団法人 福岡アジア都市研究所  
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構  
九州大学科学コミュニケーション推進グループ

後援 九州大学法文学部創立100周年記念事業準備委員会  
九州大学人社会協働研究・教育 commons プレ企画  
九州大学企画部社会共創課(社会連携推進室)